



Title	近代ガラス史(中欧編) : 19世紀末～ 第2次世界大戦まで
Author(s)	鈴木, 佳子
Citation	デザイン理論. 2004, 44, p. 130-131
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/53264
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

近代ガラス史（中欧編）

—19世紀末～第2次世界大戦まで—

鈴木佳子／京都女子大学

●はじめに 中央ヨーロッパのガラス関係地図について

1900年 1920年 2000年の地図で全体を説明する。1900年には AUSTRIA-HUNGARY GERMANY RUSSIA に含まれる地域を1920年には、GERMANY CZECHOSLOVAKIA AUSTRIA POLAND HUNGARY となり2000年には CZECH REPUBLIC と SLOVAKIA は別の国になった。歴史上で国境が変化し、呼び名も変わるという激動の時代を超えて、ガラス工業はその地に根を下ろしながら、どのように変貌したかを考察する。

●アールヌーボー・スタイル

1851年 ロンドン博に始まる万国博はガラスの世界にも大きな影響を及ぼす事となる。1873年（ウィーン）1878年（パリ）では中欧のガラスはまだ古い形式のものしか評価されなかった。（例えばルネサンス様式のロブマイヤーの作品・カメリツキー・シェノフ（Steinschönau）でエングレービングされ、ボル（Haida）のアントン＝アンブロス・エガーマンにより彩色されたものなど）そのことを受けて、Lロブマイヤーはウィーンの一派の建築家やデザイナーにデザインを依頼する。また1885年にはプラハ工芸美術専門学校が設立され、ガラス工芸の研究が盛んになる。チェコのアールヌーボーは1890年頃よりガレやティファニーの展覧会がよく開催され、技術的にも交流がなされた。

●ウィーン・セセッション及びウィーン工房との関係

Mey's Neffe (Adolf Winterberg 1814-1922) チェコは1922年 Moser に吸収合併される

1814年 ヨゼフ・マイヤーにより創立

1841年 創立者の甥引き継がれマイヤース・ネッフェと呼ばれる（neffe は甥の意味）

19世紀中頃よりウィーンのロブマイヤーのエナメル絵付け、バカラヴィッツガラス工場の下請け、レツ・ヴィトヴェ工房のラスター彩なども手がけ、ウィーン工房の作品も創る。

デザインはヴィーナー・セセッションのメンバー（モーザー、オルブリッヒ、ホフマン、ブルッチャードなど）

J & L Lobmeyr (Wien 1822～現在) オーストリア

Josef Lobmeyr (1792-1855) ガラス専門店を起こし、1837年工場生産に入る。

1855年ヨーゼフ・ロブマイヤージュニアと弟ルードヴィッヒ・ロブマイヤーの名前から J & L Lobmeyr となる。

1859年 Mey's Neffe と提携

1864年のパリ博 出品

1902年 Stefan Rath に引き継がれる。1906年頃よりWWとの関係が深くなり、1910年に J. Hoffmann が美術部長になり1912年まで続いている。Hoffmann (亀甲パターン、平カット、白と黒の線、市松、唐草文など)

Lötz Witwe Klostermühle 1836-1951) チェコ レツ・ヴィトヴェ工房 ヨハン・レツ (1778-1848) が創立し孫のマックス・リッター・フォン・シュパウンが継ぐ。(Witwe工房はヨハン・レツの未亡人の意味) この工房には、ラスター彩の作品が多くあり特にアールヌーボー風のものが初期には多い。そ

の後ウィーン工房のメンバーやマリア・キルヒナー（1852–1931）達がデザインを制作した。1911–1913年一時中断したが、1930年焼失 再建と困難にもめげず1951年まで続いた。

●前衛的装飾とガラス学校

Fachschule Steinschönau Czech

Fachschule Heida Czech

J & L Lobmeyr Wien

Bruno Mauder zwiesel Germany

Fachschule für Glasindustrie zwiesel

Lötz Witwe Klostermühle

Joh, Oertel & Co. Haida

L. Moser & Söhne Karlsbad Czech 1857–現在

●Eiffとエンゲルレーヴィングの技法

Wilhelm von Eiff Kunstgewerbeschule Stuttgart Germany

J & L Lobmeyr Wien

Werkstätten Richard Süssmuth Penzig Poland

●インダストリアル・デザイン

Bakalovitz Söhne 1845-

Perter Behrens Koloman Moser J. M. Olblich Josef Hoffmann

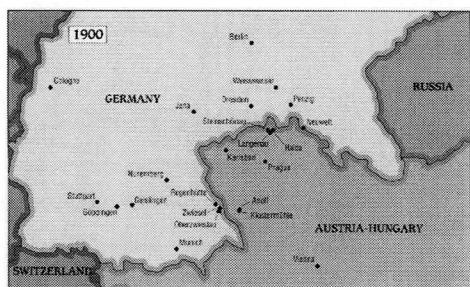
Welhelm Wagenfeld bauhaus)

Jenaer Glaswerke Schott & Gen. Jena Germany

Vereinigte Lausitzer Glaswerk AG Weiss wasser Germany

中欧でウィーン工房や bauhaus がアール・デコからインダストリアルデザインにむかっていく頃、西欧も北欧もアメリカもそれぞれのガラス産業が発達し現代では地域の特徴より作家個人のデザインが大きなウェイトを持ってきた。1960年代のスタジオ・グラスの時代を超えてますますその傾向が強まって、あまりにアートの世界のみに重点が置かれ過ぎて

ガラスの日常品が押しやられてきた今日、北欧のデザインが見直されるのもうなづけるよう思う。



J & L Lobmeyr J. Hoffmann